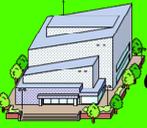


放課後等デイサービス やんちゃりか 体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和6年12月24日(火)



「自分で物を作る楽しさ、難しさ、達成感を 体験できました。」

放課後等デイサービスやんちゃりかの小学生から高校生までの12人が、体験活動の一環として、外部施設見学を通して集団行動をしたり、歴史の学習と体験を通して達成感を味わうことを目的に、展示室の見学と、ミニミニ土偶作り体験を行いました。



展示室の見学

石器の展示では、黒曜石の大切さを伝え、縄文土器の展示では、土器の発明により食事が大きく変化したことなどを話しました。弥生時代の展示では、石器に代わり金属が伝わったことで生活が変わったことも話しました。実物の土器や石器、金属器などを見る機会は多くないので、興味深く見学していました。



「はにわと土偶の
違いを教えて
もらった。」



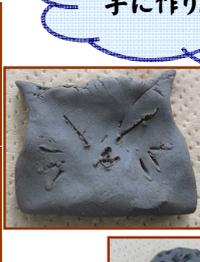
ミニミニ土偶作り体験

初めて体験学習で土偶作りを行いました。簡単にできるかと思っていましたが、はにわより難しいことが分かりました。国宝の遮光器土偶を作りたいという子が多かったのですが、作り始めると難しいということが分かったようで、形を作るのに苦労しましたが、何とか作りあげました。



「難しかった。もっと上
手に作りたかった。」

「自分で作って上
手にできた。」



指導員さんの感想

「自分で物を作る楽しさ、難しさ、達成感を体験できました。難しい作業でしたので、もう少し時間が必要な子もいましたし、資料の説明があり、興味をもった子もいました。センターの職員さんには人数の変更にも対応していただき、大変助かりました。はにわ作りや弓矢体験など、以前体験した話をするとう「やりた〜い」という子どももいました。また体験に参加したいです。」

